

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和3年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	出水市の地域エネルギー構造高度化推進のための調査及び計画策定事業	
補助事業者名	鹿児島県出水市	
補助事業の概要	本市のエネルギーについて、再生可能エネルギーの導入及び利活用により、地産地消による地域内循環を目指すとともに、併せて脱炭素社会の実現を目指すことを目的に、これらの実現につながるモデル事業について調査・検討を行い、地域エネルギー会社設立に向けた事業計画案を策定した。	
総事業費	10,780,000 円	
補助金充当額	10,780,000 円	
定量的目標	再生可能エネルギー活用モデルケース検討案（複数案）の創出（令和3年度） 地域エネルギー事業主体の設立（令和4年度以降）	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>再生可能エネルギーの活用方法等について調査・検討を行い、再生可能エネルギーの利活用により地域内循環及び脱炭素化につながるモデル事業について、事業スキーム・事業計画の検討、事業採算性を試算した。</p> <p>再生可能エネルギーのポテンシャル・利用可能性調査において、現実的な導入面を考慮すると利用可能性は太陽光発電に集中していることがわかった。</p> <p>再生可能エネルギー利活用方法の検討においては、P P Aモデルによる太陽光発電導入や鶏ふんバイオマス発電導入などによる創エネ事業、蓄電池の導入によるレジリエンス強化やV P P事業への展開などのエネマネ事業、E S C O事業なども含めた電力設備包括管理事業による省エネ化などの脱炭素推進事業を検討した。また、会社の利益を地域に還元する事業として、ソーラーシェアリング設備の導入などによる地元特産品のブランド力強化、環境教育の実施など利活用モデル事業を検討することで、これらの地域エネルギー事業の効果及び実現可能性を明らかにし、実効性の高い事業の創出と事業展開につなげることが可能となった。</p> <p>環境・経済・社会の好循環を生み出すための「創エネ・エネマネ・省エネ」事業の推進エンジンとなる地域エネルギー会社については、需給シミュレーションや事業採算性評価を行い、事業計画を策定することにより事業の実現可能性を明らかにし、地域エネルギー会社の設置運営の事業スキームを明確にすることができ、当初の目的を達成した。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	出水市の地域エネルギー構造高度化推進のための調査及び計画策定業務
	契約の方法	随意契約（公募型プロポーザル実施後）
	契約の相手方（間接補助先）	パシフィックパワー株式会社
	契約金額（間接補助金額）	10,780,000 円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。